柑橘

７月の農作業管理

周防大島統括本部

エムダイファー水和剤は令和８年１０月末以降使用できないので注意しましょう！

重点作業　**「一果入魂」こだわりを持った生産管理に努めよう**

作業１　粗摘果

品種	時期	葉果比（１果：葉数）
極早生温州	６月下旬～７月上旬	15～20 枚
早生温州	７月中旬～７月下旬	20～25 枚
中生・普通温州	７月中旬～８月上旬	中生 25～30 枚 普通温州 30～35 枚
高糖系温州	８月中旬～８月下旬	15～20 枚
宮内伊予柑	６月下旬～７月上旬（中晩柑は同時期となります）	60～70 枚 ※大玉生産、隔年結果防止の防止になります。
太田ポンカン		
デコポン		
せとみ		

今年は、裏年で果実量が少ない園では整理落下が多ければ粗摘果は控えた方が良いかと考えられます。

極早生温州が他の品種よりも早く、仕上げ摘果は７月下旬頃おこなってください。

作業２　病害虫防除

黒点病の薬剤は果実の表面を覆う「保護剤」で降雨や紫外線による分解で効果が低下します。１度散布し積算降雨量が、200m（晴天続きでも３０日）までに再散布（早めの再散布を）をしましょう。

時期	病害虫	防除薬剤
７月上中旬	黒点病（３回目） アザミウマ類・ミカンサビダニ 樹勢強化	エムダイファー水和剤　６００倍 アグリメック　2,０００倍 スイカル（カルシウム剤）　５００倍
７月下旬	ゴマダラカミキリの産卵防止（株元散布）	モスピラン顆粒水溶剤　２００倍
	黒点病（４回目） ミカンバエ成虫	ジマンダイセン水和剤　４００～６００倍 ※中晩柑は６００倍で使用 アークリン水和剤　3,０００倍 ※在庫がある場合、コルト顆粒水和剤3,０００倍
７月下旬～８月上旬	日焼け対策（２回散布） １回目は７月下旬（梅雨明け後） ２回目は８月中・下旬	ホワイトコート　25～50 倍 ※　レモン、デコポン、スダイダイには散布不可

作業３　苗木の管理

●灌　水…１樹当たり１０リットル灌水する

●芽かぎ…１節当たり強い芽を１本と弱い芽を１～２本残して他は間引く

●施　肥…７月上旬（追肥）に１年生は１樹当り柑橘有機配合を約 70g、２年生は約 90g を施用

●ミカンハモグリガ（下記のいずれかの方法で防除）**※ミカンハモグリガ（エカキムシ）防除の詳細は、栽培カレンダーP28 を確認下さい**

◎全体散布：モスピラン顆粒水溶剤 4,000 倍、エクシレル SE 5,000 倍、ダントツ水溶剤 4,000 倍のいずれかで防除をしてください。

◎樹幹散布：ダントツ水溶剤 20 倍（夏芽発生前）

◎樹冠散布：エクシレル SE100 倍（夏芽５㎜発生）

作業４　タイベックマルチの被覆　着色促進・糖度アップを目的に、マルチ被覆に取り組もう！

品種	被覆時期	事前準備
極早生（日南姫含む）	被覆してない園は早急に（７月上旬）	※排水対策（溝切り、溝上げ） ※除草・園内の整地
早生	傾斜地（７月中旬）水田転換園（７月上旬）	
中生・大津	水田転換園（７月中旬）	
普通温州・高糖系	傾斜地（７月下旬）、水田転換園（７月中旬）	

作業５　フィガロンによる熟期促進（１回目）

品種	散布時期	使用倍率
極早生・早生	満開後６０日（７月中旬）	２，０００倍
普通・高糖系	満開後７０日（７月下旬）	

※樹勢の弱った樹は散布を控えましょう。

作業６　かぶさり枝の除去

春芽が多く発芽し下の果実にかぶさっていると、樹木の中まで農薬が付着しない事や、果実に日が当たらなくなり農薬効果、品質に影響を及ぼすため、かぶさり枝は除去を行って下さい。

落葉果樹

	病害虫	防除薬剤	重点管理
モモ	黒星病 ﾓﾓﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ	トップジンM水和剤 １,０００倍 モスピラン顆粒水溶剤　４,０００倍	
西条柿	ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞ ﾐｼﾏ 炭疽病、落葉病	テルスター水和剤　２,０００倍 ジマンダイセン水和剤　６００倍	仕上げ摘果…生理落果の終了する７月上旬～中旬に行う
キウイ	軟腐病	フロンサイドＳＣ　２,０００倍	摘芯…結果部から１０節くらいの先端部で行う

※キウイの防除には必ず展着剤としてアビオン-E の１,０００倍を加用散布する

野菜

	病害虫	使用薬剤	使用倍率	収穫前日数	使用回数
キュウリ	うどんこ病	ダコニール 1000	1,000 倍	前日	12 回
	べと病				
	アブラムシ	ダントツ水溶剤	4,000 倍	前日	３回
ナ　ス	テントウムシダマシ	ダントツ水溶剤	4,000 倍	前日	３回
	チャノホコリダニ	コテツフロアブル	2,000 倍	前日	４回
	アブラムシ	ダントツ水溶剤	4,000 倍	前日	３回
トマト					
スイカ					

水稲

病害虫防除

コシヒカリで７月上旬に**トビイロウンカ、**下旬に **コブノメイガ、紋枯病**の発生が見られるときは防除を行って下さい。防除剤は栽培暦を参照して下さい。

ひとめぼれで７月中旬に**トビイロウンカ、**８月上旬に **コブノメイガ、紋枯病**の発生が見られるときは防除を行って下さい。防除剤は栽培暦を参照して下さい。

８月上旬カメムシ防除（コシヒカリ）の１回目を穂揃期に行ってください。防除剤は栽培暦を参照して下さい。

農薬の飛散に十分注意してください！

◎営農相談フリーダイヤル　　０１２０－０８２－７２２